

銚子漁港第一市場荷さばき施設の整備について

1 目的

銚子漁港は、水揚量日本一を誇る漁港であり、三か所の市場から構成され、中でも第一市場は、長く銚子のシンボリックな存在であったが、建築後40年以上経過し老朽化が激しくなっていたところ、震災により使用できなくなった。

これを機に、旧第一市場荷捌所を撤去し、地域の活性化を目的として、3年の歳月を経て復興のシンボルともいえる新たな高度衛生管理型荷捌所*を整備した。

高度衛生管理型荷捌所とは

- ・ 閉鎖型とすることで風雨や鳥類等の侵入を防止
- ・ 水産物を直置きせず洗淨台、スノコ等を使用
- ・ 品質劣化を防止するための確実な施氷と紫外線殺菌処理海水を使用
- ・ 排水路の適切な配置と排水処理施設の整備

2 期待される効果

- ①衛生管理体制の強化により、消費者により一層、安全で安心な水産物を提供することができる。さらに、将来的には衛生管理基準の厳しい諸外国への輸出への対応も期待できる。
- ②水産物の品質向上により、魚価向上が期待され、地域漁業経営の改善に寄与できる。
- ③水揚魚の差別化が図られて、産地間競争力、ブランド力の強化につながる。
- ④見学者用通路等の整備や地元の味が体験できる海業施設が併設されることで、観光客の増加が見込まれ、地域活性化の核としての役割が期待される。

参考：施設の整備状況

- ・ 事業期間：平成24年度～26年度、・ 事業主体：銚子市漁業協同組合
- ・ 整備内容：高度衛生管理型荷捌施設
プレストレストコンクリート造2階建（延床面積7,366㎡）
閉鎖型施設とし、2階に見学者用通路を整備
- ・ 整備年次：

年度	H24	H25	H26末
内容	実施設計	旧施設の解体、建設着工	市場完成

・ 総事業費・負担区分

区分	総事業費	国費(2/3)	県費(1/10)	市費(1/10)	漁協負担
千円	2,287,673	1,525,115	228,767	228,767	305,024

震災直後の旧第一市場の様子



新設される第一市場のイメージ

